



IT Automation Conductor 【座学編】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

第1.6.1版

Exastro developer

目次

1. はじめに

1. 本書について

2. Conductorについての説明

1. Conductorとは

2. Conductorの特徴

3. Conductorメニューの機能説明

4. Conductorの作業フロー

1. はじめに

1.1 本書について

■ メインメニュー

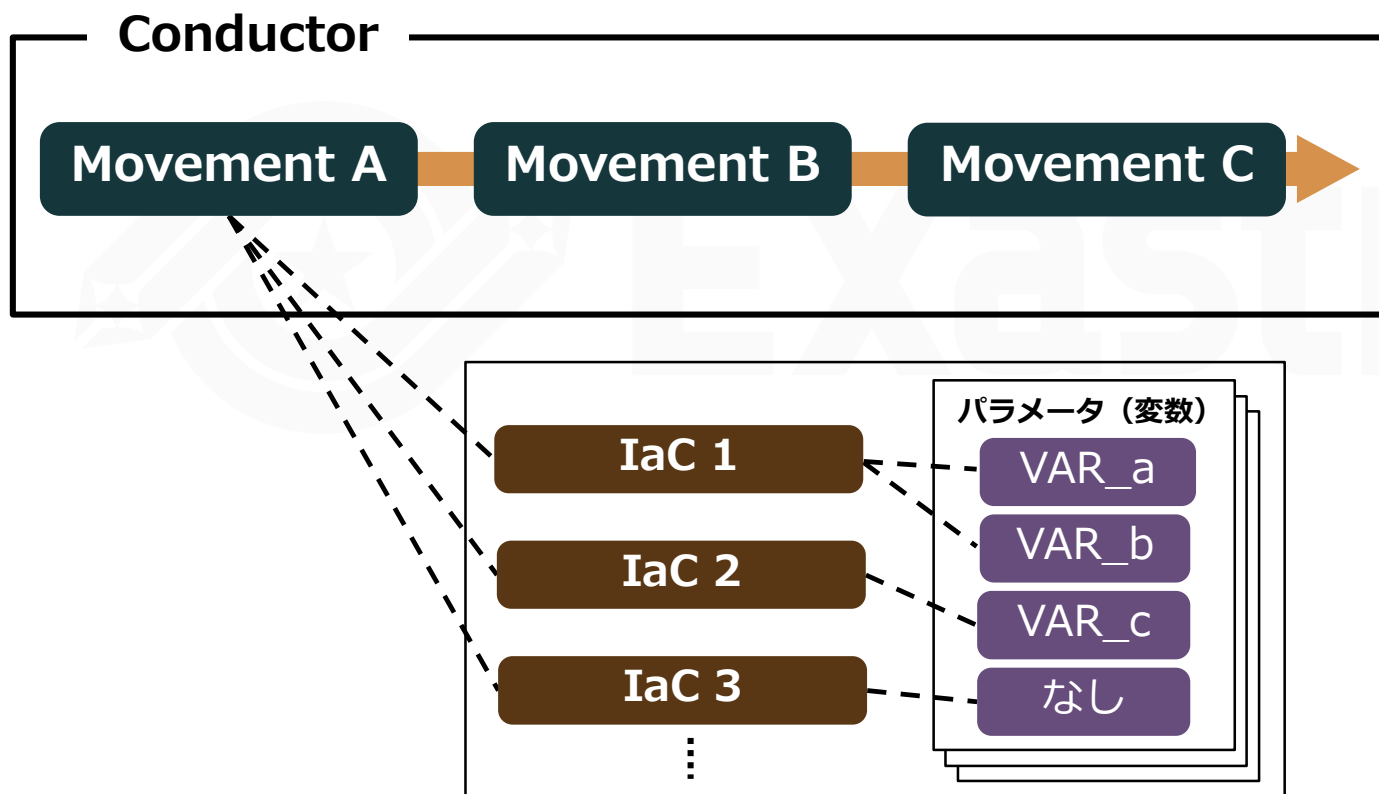
- 本書では、メニューグループの「**Conductor**」について、ご説明をしております。



2. Conductorについての説明

2.1 Conductorとは

- Conductorは、ITAにver1.5.0より追加された機能です。
- ITA における一連の作業の単位を指し、オペレーション名と関連付けて実行します。（ジョブフロー）

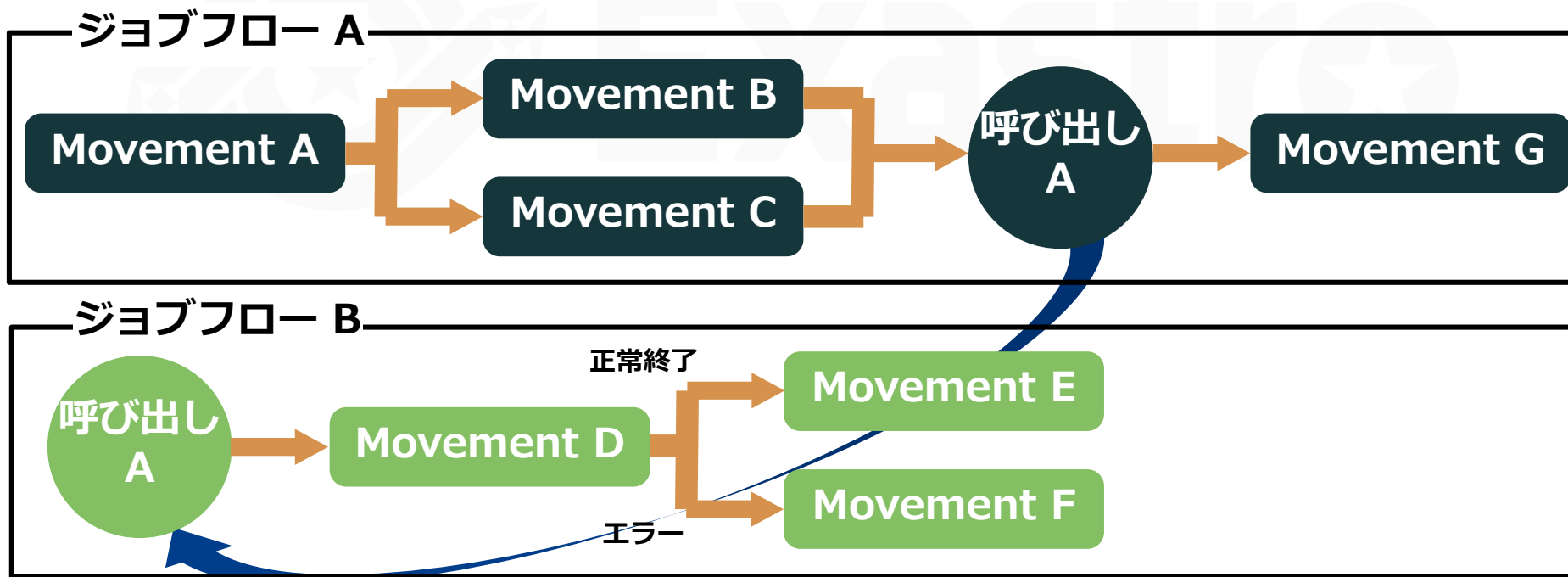


2.2 Conductorの特徴

- ConductorではSymphony機能と同様の作業実行機能に加え、以下の機能を備えています。

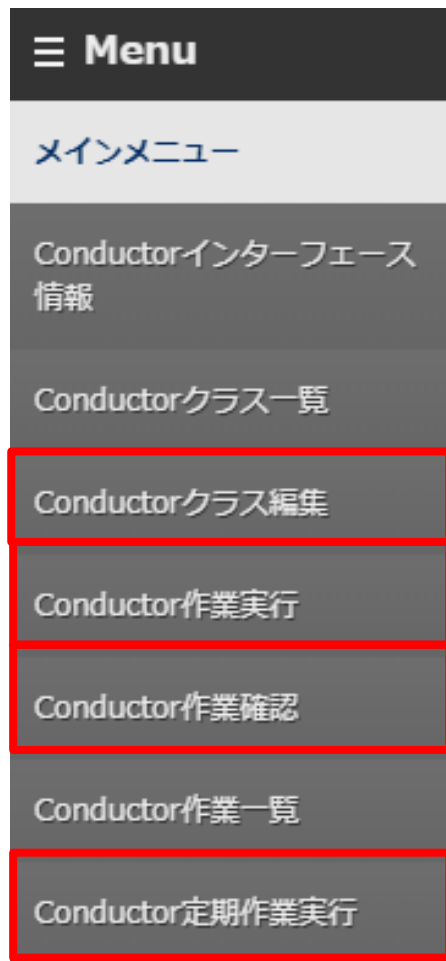
これらによって、Conductorでは**より高度なジョブフローを実行できます。**

- Movement の並列実行
- 別のジョブフローの呼び出し
- Movement の実行結果による条件分岐



2.3 Conductorメニューの機能説明 (1/10)

- Conductorにおける主なメニュー機能を紹介します。



①Conductorクラス編集

作成したMovementを使用してオペレーションを作成します。

②Conductor作業実行

オペレーションを実行します。

③Conductor作業確認

作成したオペレーションの確認できます。

④Conductor定期作業実行

オペレーションを登録し、定期実行をおこないます。

①

②

③

④

2.3 Conductorメニューの機能説明 (2/10)

●Conductorクラス編集 (1/3)

- 「Conductorクラス編集」メニューではMovement、各種制御を行うFunctionの追加、削除が可能です。

The screenshot displays the 'Conductor Class Editor' interface. At the top, there are buttons for 'EDIT', '新規' (New), '保存' (Save), '読み込み' (Load), '取り消し' (Cancel), 'やり直し' (Redo), and 'ノード削除' (Delete Node). On the right, there are buttons for '全体表示' (Full View), '表示リセット' (Reset View), and 'フルスクリーン' (Full Screen). The main workspace shows a workflow diagram with three nodes: 'Start' (blue circle with 'S'), 'Movement_1' (red circle with '1'), and 'End' (blue circle with 'E'). The 'Movement_1' node is labeled 'Ansible Legacy' and 'Movement_1'. Red arrows indicate the flow from 'Start' to 'Movement_1' and from 'Movement_1' to 'End'. A red double-headed arrow connects the 'OUT' port of 'Movement_1' to the 'IN' port of 'End'. A red arrow points from the 'Function' button in the 'Movement' panel to the 'Movement_1' node. The 'Movement' panel on the right has a 'Function' button and a table of movements.

Movementごとのin/outをドラッグ&ドロップでMovementの結合が可能です

+	ID	Movement
<input checked="" type="radio"/>	1	Movement_1
<input type="radio"/>	2	Movement_2
<input type="radio"/>	3	Movement_3
<input type="radio"/>	4	Movement_4
<input type="radio"/>	5	Movement_5

各種Functionが選択可能です

ドラッグ&ドロップすることでMovement配置ができます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (3/10)

●Conductorクラス編集 (2/3)

- 画面右中央付近のタブから、オペレーションの条件分岐を制御する **Function** を選択、使用することが可能です。

The screenshot displays the Conductor editor interface. At the top, there is a toolbar with buttons for 'EDIT', '新規' (New), '保存' (Save), '読込' (Load), '取り消し' (Undo), 'やり直し' (Redo), and 'ノード削除' (Delete Node). The main workspace shows a workflow diagram with a 'Conductor Start' node (blue circle with 'S') connected to two 'Ansible Legacy' nodes (red circles with '1' and '2'). The 'Ansible Legacy' nodes are labeled 'Movement_1' and 'Movement_2'. A red arrow points from the 'Function' menu to the 'Ansible Legacy' nodes. On the right side, there is a panel with a 'Function' tab selected, showing a list of function types: 'Conductor end', 'Conductor pause', 'Conductor call', 'Conditional branch', 'Parallel branch', and 'Parallel merge'. A blue star icon is visible in the background of the right panel.

Movementと同様にin/outを
ドラッグ&ドロップで結合が可能です

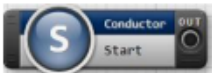






ドラッグ&ドロップすることで
Functionを配置ができます

各種Functionが選択可能です

2.3 Conductorメニューの機能説明 (4/10)

●Conductorクラス編集 (3/3)

- 使用可能なFunctionを記載します。詳細は[マニュアル](#)をご覧ください。

画像	名称	動作説明
	Conductor start	Conductorを開始します
	Conductor end	Conductor 終了します。 ※複数の Conductor end がある場合、全ての Conductor end が終了を待ちます。
	Conductor pause	ワークフローを一時停止します。 一時停止を解除すると、次の処理へ進みます。
	Conductor call	別の登録済みの Conductor クラスを呼び出し実行します。
	Conditional branch	接続された、「Movement」、「Conductor call」の結果によって、後続の処理を分岐させます。 指定可能なステータスは、以下になります。 <ul style="list-style-type: none">・正常終了・異常終了・緊急停止・準備エラー・想定外エラー・SKIP 完了
	Parallel branch	並列して、「Movement」、「Conductor call」を実行します。 ※並列可能な実行数は、ITA の構成やサーバースペックに依存します。
	Parallel merge	接続している全 Node の処理が完了後、次の処理を実行します。
	Movement 各種	Movement を実行します。

2.3 Conductorメニューの機能説明 (5/10)

●Conductor作業実行(1/2)

- 「Conductor作業実行」メニューでは作成したConductor、オペレーションを選択し実行します。

説明

▼開く

スケジューリング

予約日時を指定する場合は、日時フォーマット(YYYY/MM/DD HH:II)で入力して下さい。ブランクの場合は即時実行となります

予約日時

Conductor[フィルタ]

▼開く

Conductor[一覧]

△閉じる

選択	No.	Conductor名	最終更新日時	最終更新者
<input type="radio"/>	1	Conductor_1	2020/09/22 23:46:50	システム管理
<input type="radio"/>	2	Conductor_2	2020/09/24 01:02:17	システム管理

フィルタ結果件数: 2

オペレーション[フィルタ]

▼開く

オペレーション[一覧]

△閉じる

選択	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	備考	最終更新日時	最終更新者
<input type="radio"/>	1	1	Operation_A	2024/10/22 23:27	2020/09/24 22:26		2020/09/24 22:26:24	legacy作業実行プロシージャ
<input type="radio"/>	2	2	Operation_B	2025/12/24 23:27			2020/09/22 23:27:47	システム管理者

フィルタ結果件数: 2

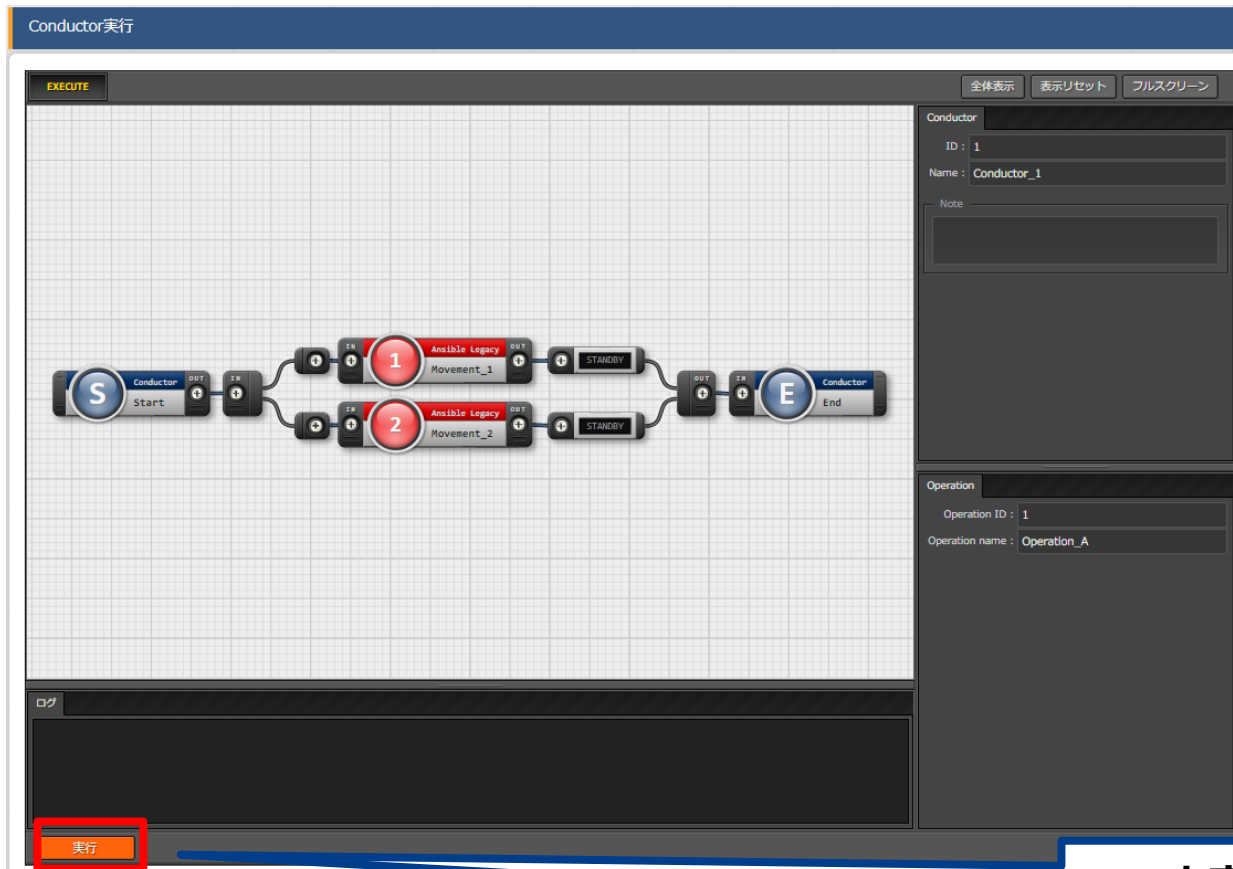
実行タイミングの
スケジューリングが可能です

実行するしたConductor、
オペレーションを選択できます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (6/10)

●Conductor作業実行(2/2)

- ページ上部で選択したConductor、オペレーションが表示されます。

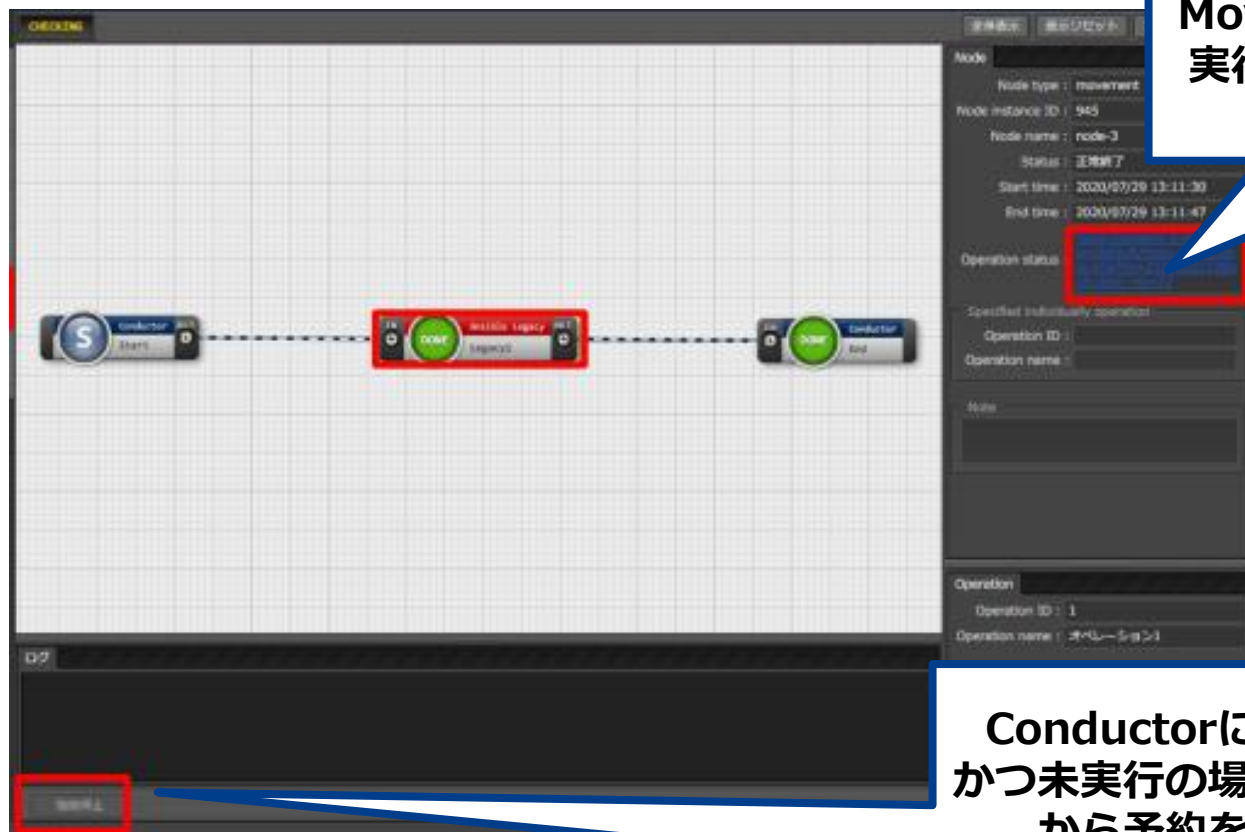


内容に問題がなければ、
「実行」ボタンから実行できます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (7/10)

●Conductor作業確認 (1)

- 「Conductor作業確認」メニューから、Conductorの実行状態が確認可能です。



Movementをクリックすると、
実行の詳細結果を確認可能です
詳細は[こちら](#)

Conductorに予約日時が設定されていて
かつ未実行の場合、「予約取り消し」ボタン
から予約を取り消すことが可能です

2.3 Conductorメニューの機能説明 (8/10)

●Conductor作業確認 (1)

「Conductor」メニューグループ>>「Conductor作業一覧」メニュー>>「一覧」サブメニューにて、各Conductorの投入データと結果データを取得することができます。

Exastro IT Automation Conductor

Menu

- メインメニュー
- Conductorインターフェース情報
- Conductorクラス一覧
- Conductorクラス編集
- Conductor作業実行
- Conductor作業確認
- Conductor作業一覧**
- Conductor定期作業実行

説明

表示フィルタ

廃止	Conductor-インスタンスID	Conductor名称	オペレーション名	ステータス	実行ユーザ	緊急停止発令フラグ	予約日時
廃止含まず ▼	▼ フルダウン検索	▼ フルダウン検索	▼ フルダウン検索	▼ フルダウン検索	▼ フルダウン検索	▼ フルダウン検索	▼ フルダウン検索

フィルタ フィルタクリア

☒ オートフィルタ

一覧

Conductor-インスタンスID	詳細表示	Conductor名称	オペレーション名	ステータス	実行ユーザ	緊急停止発令フラグ	投入データ式(zip)	結果データ式(zip)	予約日時	開始日時
3	詳細	c test	ope	緊急停止	システム管理者	発令済	download(.zip)	download(.zip)	2021/02/24 10:20:59	
2	詳細	SCALL	ope	正常終了	システム管理者	未発令	download(.zip)	download(.zip)	2021/02/15 10:08:09	
1	詳細	CALLS TEST	testOperation	緊急停止	システム管理者	発令済	download(.zip)	download(.zip)	2021/01/27 17:03:04	

フィルタ結果件数: 3

Excel出力

2.3 Conductorメニューの機能説明 (9/10)

●Conductor定期作業実行 (1/2)

- 「Conductor定期作業実行」メニューでは、スケジュールに従って定期的に行う作業を管理します。

表示フィルタ △閉じる

廃止	定期作業実行ID	Conductorクラス名	オペレーション名	ステータス	次回実行日	最終更新日時	最終更新者
廃止含まず ▼	~	▼ブルダウン検索	▼ブルダウン検索	▼ブルダウン検索	~	~	▼ブルダウン検索

フィルタ フィルタクリア

☒ オートフィルタ

一覧/更新 ▽開く

登録 △閉じる

定期作業実行ID	Conductorクラス名*	オペレーション名*	ステータス	スケジュール設定	次回実行日付	開始日付*	終了日付	周期	最終更新日時	最終更新者
自動入力	Conductor_1 ▼	Operation_B ▼	自動入力	スケジュール設定	自動入力	2020/09/30 23:27	2020/10/29 23:27	時	自動入力	自動入力

※*は必須項目です。

戻る 登録

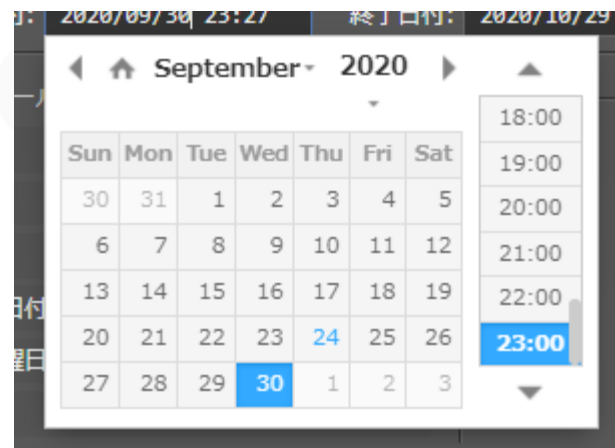
「スケジュール設定」から詳細なスケジュールが設定できます

2.3 Conductorメニューの機能説明 (10/10)

●Conductor定期作業実行 (2/2)

- 「スケジュール設定」は以下のように実行期間や、作業を停止する期間などの設定を細かく行うことが可能です。

クリックするとカレンダーが表示されます



2.4 Conductorの作業フロー

- Conductorの作業フローは以下の通りです。
実際の操作は実習編にて記載しています。

①機器情報の登録

基本コンソールメニュー

②オペレーションの登録

③Movementの登録

各種Driverメニュー

④Movementの確認

⑤インターフェース情報を登録

Conductorメニュー

⑥Conductorの登録

⑦Conductorの確認

⑧Conductorの実行

⑨実行結果確認

⑩実行履歴の確認



Exastro